

令和5年度事業計画

【公益目的事業】

公1	市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがいつくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	268,279,000円
		費用	277,405,000円
		人件費	127,343,000円
		物件費	150,062,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態
事業内容				

1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施する。また、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがいつくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供する。

(1) 意識啓発講演会	年1回	シルバーセンター	自主事業	
<p>広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するとともに、2025年には65歳以上の4人に1人が認知症及びその予備軍と推計される社会情勢を踏まえ、認知機能を健全に保つための関連テーマを取り上げた講演会やシンポジウム等を開催する。</p> <p>また、脳の健康状態を維持する各種取り組みの紹介・体験を含めた関連イベントを開催し、認知機能低下予防につながる生きがい・健康づくりの活動に取り組むきっかけとなる機会の提供、意識啓発を図る。</p>				
(2) 学習機会の提供				
ア	せんだい豊齢学園公開講座	年10回	シルバーセンター	自主事業
<p>通年の学習機会に参加が難しい市民を対象に、豊齢学園事業の周知を兼ねて、地域づくりや社会参加等の必要性の理解促進、生きがいつくりやこれからの生活の更なる充実に取り組めるテーマを取り上げ、実施する。</p> <p>◆対象：50歳以上の市民 ◆回数等：30人×6講座、50人×4講座</p>				
イ	大人の未来学校	年5回	シルバーセンター	自主事業
<p>生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持つよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催する。</p> <p>併せて、健康的で活動的な生活習慣が、介護予防及び認知機能の低下予防につながることを啓発していく。</p> <p>◆対象：概ね30～50歳代の市民 ◆回数等：30人×4回、50人×1回</p>				

2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいつくりに加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成する。

(1) せんだい豊齡学園事業	通年	シルバーセンター	自主事業																				
<p>高齢者世代がいくつになっても生きがいを持ち、心豊かに暮らし続けることができる社会の実現を目指し、生涯学習の機会と相互交流の場を提供する。学園修了後の社会参加活動の広がりをもとにした学習プログラムとして、地域活動団体や福祉団体、行政機関等と連携した体験学習を拡充するとともに、主体的な実践活動を支援していく。</p> <p>◆開設コース：①社会活動コース（2年制） ②75歳からのアクティブライフコース（1年制）</p> <p>◆対象：①社会活動コース（2年制） 50歳～74歳の市民：1学年80人・2学年37人 ②75歳からのアクティブライフコース（1年制） 75歳以上の市民：40人</p> <p>◆内容等：①社会活動コース（2年制） 第1学年 年間30日・52講座程度 第2学年 年間30日・52講座程度 ②75歳からのアクティブライフコース（1年制） 年間28日・30講座程度（その他受講希望制による選択科目9講座を開設） ③活動促進イベント（夏期特別講座や修了生向け講演会等の交流を通じた活動継続支援） 年間2回 ④豊齡学園・豊齡ネットワーク交流イベント 年間1回</p>																							
(2) シニア学び合い講座	通年	シルバーセンター	自主事業																				
<p>高齢期をいきいきと豊かに過ごすための知識や技術を身に付け、社会参加や地域活動等に向けた積極的な意識を持てる人材を育成する。講座終了後は、身に付けた知識や技術を活かした様々な活動（創作活動、ボランティア活動等）を継続しながら社会参加・貢献できるよう支援する。また、近年急速な発展を遂げている情報通信技術（ICT）の利活用にも慣れた高齢者や学びを深めたい高齢者を対象に体験講座や相談会等を開催する。</p> <p>◆対象：シニア世代の市民、一般市民</p> <p>◆内容等：①社会参加促進のための知識・技術を養成する講座の開催</p> <table border="0" data-bbox="309 1263 1007 1592"> <tr> <td>i) 市民向け講座</td> <td>20人×2回×1期 15人×3回</td> </tr> <tr> <td>ii) 創作活動体験講座</td> <td>20人×4回</td> </tr> <tr> <td>iii) シニア地域活動モデル事業</td> <td>1団体×6回</td> </tr> <tr> <td>②ICT活用講座</td> <td></td> </tr> <tr> <td>i) スマホサロン@仙台</td> <td>15人×2回×2期</td> </tr> <tr> <td>ii) スマホサロン研修会</td> <td>30人×年2回</td> </tr> <tr> <td>iii) スマホ相談会</td> <td>年4回程度</td> </tr> <tr> <td>iv) SNS体験講座</td> <td>15人×1回×2期</td> </tr> <tr> <td>③高齢者の知識・技術の習得をねらいとした講座</td> <td></td> </tr> <tr> <td>i) シニア世代の市民向け講座（美術体験講座）</td> <td>20人×1回×1期</td> </tr> </table>				i) 市民向け講座	20人×2回×1期 15人×3回	ii) 創作活動体験講座	20人×4回	iii) シニア地域活動モデル事業	1団体×6回	②ICT活用講座		i) スマホサロン@仙台	15人×2回×2期	ii) スマホサロン研修会	30人×年2回	iii) スマホ相談会	年4回程度	iv) SNS体験講座	15人×1回×2期	③高齢者の知識・技術の習得をねらいとした講座		i) シニア世代の市民向け講座（美術体験講座）	20人×1回×1期
i) 市民向け講座	20人×2回×1期 15人×3回																						
ii) 創作活動体験講座	20人×4回																						
iii) シニア地域活動モデル事業	1団体×6回																						
②ICT活用講座																							
i) スマホサロン@仙台	15人×2回×2期																						
ii) スマホサロン研修会	30人×年2回																						
iii) スマホ相談会	年4回程度																						
iv) SNS体験講座	15人×1回×2期																						
③高齢者の知識・技術の習得をねらいとした講座																							
i) シニア世代の市民向け講座（美術体験講座）	20人×1回×1期																						

3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループ及び地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援する。

(1) せんだい豊齡ネットワーク支援	通年	シルバーセンター	自主事業
<p>個々に活動してきたシニア活動グループの交流と連携を図るために組織された「せんだい豊齡ネットワーク」（豊齡ネット）の円滑な運営とより活発な活動展開を支援し、地域での自主的な活動を促す。</p>			

<p>◆対象：豊齡ネット加入グループ</p> <p>◆支援内容：事務局運営支援（シルバーセンター内に開設する交流サロンの運営支援） 加入グループ間交流支援（代表者会議、推進会議、交流会等の開催支援） 加入グループ活動活性化支援（活動機会の提供、活動の提案やサポート） 豊齡ネット全体活動実施支援（加入グループ全体で企画・運営する各種活動のサポート） 広報支援（ホームページの開設運営支援）</p>			
(2) 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務	通年	シルバーセンター	受託事業
<p>主に介護保険の要介護認定を受けていない高齢者を対象に、生活指導や昼食提供等を行っているボランティア団体等の事業助成において、助成申請書類等の説明・受付・審査及び研修会を開催する。</p> <p>◆対象：仙台市より助成金交付決定を受けたボランティア団体（令和4年度実績：7団体）</p> <p>◆内容：①助成金交付説明・受付・審査（ボランティア団体からの助成金交付申請に係る書類等の説明・受付・審査） ②現地調査（助成金交付ボランティア団体の活動状況確認のための訪問調査） ③研修会等の開催（助成金交付ボランティア団体の活動支援を目的とした研修会・意見交換会の開催）</p>			

4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じる。

(1) 高齢者に関する一般相談・ 専門相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業
<p>①高齢者に関する一般相談</p> <p>◆内容：高齢者やその家族が抱える生活全般に関する問題</p> <p>◆相談日：休館日を除く毎日</p> <p>◆相談方法：電話、面接 （令和3年度実績 836人 ※感染症の影響により原則電話対応期間あり）</p> <p>②専門相談</p> <p>◆内容：税務、法律、年金</p> <p>◆相談日：月1回～4回程度</p> <p>◆相談方法：原則面接 （令和3年度実績 150人 ※感染症の影響により電話対応期間あり）</p>			

5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいがづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供する。

(1) シルバー創作展	年2回	シルバーセンター等	自主事業
<p>①シルバー創作展</p> <p>高齢者に創作活動の発表の機会を提供することにより、高齢者の生きがいがづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的として作品展を開催する。併せて、市内小学校や保育園、障害者団体と協働・連携して子どもや障害者の作品を展示し、交流を行う。</p> <p>◆対象：市内在住又は市内勤務・通学の60歳以上のアマチュアの方</p> <p>◆部門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸の6部門</p> <p>◆期間：6日間</p> <p>②市民サークル等との協働創作展</p> <p>高齢者による芸術創作活動を広く市民に周知することを目的に、シルバーセンター以外の施設を会場として市民サークル等と協働で作品展を開催する。</p>			

(2) 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務	10月	愛媛県（開催地）	受託事業
<p>高齢者の生きがい創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省・長寿社会開発センター・開催自治体が主催する全国健康福祉祭に仙台市選手団を派遣する。</p> <p>◆大会期間：10月28日～10月31日 ◆派遣種目：卓球等20種目 ◆派遣人員：159人（役員9人含む）</p>			

6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機の間を提供する。

(1) 仙台市高齢者生きがい健康祭 仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により、健康づくりや社会参加の機会を提供し、活力ある高齢社会の実現を目的とするイベントを開催する。			
ア	市民広場交流事業	9月	勾当台公園市民広場 共催事業
<p>高齢者支援団体等によるテントブース出展と歌や踊りを通じて健康づくり等を行っている団体等によるステージ発表のイベントを開催する。</p> <p>◆出展団体：28団体 ◆発表団体：13団体</p>			
イ	競技種目交流大会	9月～12月	仙台市内体育館等 共催事業
<p>概ね50歳以上の方やチームを対象に、さまざまな競技種目による交流大会を開催する。</p> <p>◆対象：概ね50歳以上の方やチーム ◆開催種目：卓球等18種目</p>			
(2) 介護予防月間実施業務			
		11月	シルバーセンター等 受託事業
<p>仙台市では、11月を介護予防月間と定め、身近な地域で取り組む介護予防の普及啓発を目的に、全市的キャンペーンを展開している。介護予防月間の企画・運営に携わる各関係団体による「関係団体会議」を開催し、事務局業務を担う。また、広く市民へ介護予防の普及啓発を行うためのイベントを開催する。</p> <p>①事務局業務 ②介護予防普及啓発イベント開催（講演会、健康測定・健康づくり相談、生きがい・健康づくり体験等）</p>			

7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図る。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行う。

(1) 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行	年6回	年間18万部 (3万部×6回)	自主事業
<p>民間企業との協働により、生きがい・健康づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行するとともに、ホームページでPDF ファイルを公開し、広く情報提供を行う。</p> <p>◆仕様：A4判・16ページ・フルカラー ◆配布先：市民センター、老人福祉センター、医療機関等</p>			
(2) シルバーセンターだより 「あばいん」の発行	毎月1回	年間4万2千部 (3千5百部×12回)	指定管理事業
<p>広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行する。</p> <p>◆仕様：A3判二つ折り・両面 ◆配布先：市内の公共施設等</p>			

8 仙台市シルバーセンターの管理運営

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行う。

平成27年度からは、仙台市より指定管理者としての指定を受け、「仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ」として共同で施設の管理を行っている。

(1) 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業
<p>①研修室等の貸出 福祉団体等へ活動・発表の場を提供することを目的に、研修室等の貸出を行う。 (令和3年度実績 969件 15,705人 ※感染症の影響により予約停止・利用自粛要請期間あり)</p> <p>②温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 (令和3年度実績 14,985人 ※感染症等の影響により利用停止期間あり)</p>			
(2) センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業
<p>①日常管理のための業務委託 警備、清掃、温水プール監視等の常駐業務の管理を行う。</p> <p>②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、プール設備等の保守管理、交流ホール舞台設備等の保守管理を行う。</p> <p>③事務機器等の賃貸借管理</p> <p>④施設整備 小規模修繕管理、館内広報を実施する。</p>			

公 2	市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	250,409,000円
		費用	251,013,000円
		人件費	148,433,000円
		物件費	102,580,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態
事業内容				

1 各種教室の開催

生活習慣病の原因となる活動量不足や不規則な食生活の改善、障害者の健康づくり、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催する。

(1) 生活習慣病予防・改善講座	年2回	健康増進センター	指定管理事業
<p>生活習慣病予防、健康づくりを広く市民に啓発するため、ヘルスプロモーション啓発セミナーを実施する。</p> <p>◆内 容：生活習慣病、健康づくりをテーマとした講演会</p> <p>◆回数等：30人×2回</p>			
(2) 障害者健康づくり教室	通年	地域拠点施設等	指定管理事業
<p>地域拠点施設、障害者施設、支援学校等において、障害者の健康増進を目的とした教室を開催する。また、各区障害者自立支援協議会等に参加し、情報収集やネットワークづくりを行いながら、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発等も行う。</p> <p>①地域拠点教室</p> <p>i) 個人対象：15人×40回×2会場（健康増進センター・シルバーセンター） 15人×12回×3会場（宮城野・若林・太白）</p> <p>ii) 団体・グループ対象：35人×24回 オンライン実施 24回</p> <p>②夕暮れエクササイズ</p> <p>◆対 象：若年者軽度知的障害者</p> <p>◆回数等：25人×40回×1会場</p> <p>③呼吸らくらくレクリエーションサークル</p> <p>◆対 象：呼吸器疾患者</p> <p>◆回数等：15人×40回×1会場</p> <p>④施設対象教室</p> <p>◆対 象：障害者及び施設職員</p> <p>◆回数等：8回程度×1施設</p> <p>⑤支援学校対象教室</p> <p>◆対 象：生徒及び教職員</p> <p>◆回数等：10回程度×3校</p> <p>⑥調査・研究・開発</p> <p>◆内 容：障害者健康づくり調査及び援助法の研究開発 障害者運動プログラム・ツールの開発 障害者健康づくり支援システムの検討 オンラインセミナーの実施 2回</p>			
(3) 高齢者運動教室	<p>健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、認知機能の低下予防に取り組みたい方等を対象に、高齢者運動教室を開催し、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続や社会参加を支援する。</p>		

ア	高齢者運動教室	通年	シルバーセンター等	自主事業
①シニア元気あっぷ運動教室 ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆回数等：25人×8クラス×4期（1期8回コース） ②はつらつ運動教室 ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆回数等：25人×4クラス×4期（1期8回コース） ③シニアステップアップ運動教室 ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な市民 ◆回数等：25人×2クラス×32回 ④いきいき脳活健幸教室 ◆対 象：満65歳以上の認知機能低下予防に興味がある運動可能な市民 ◆回数等：15人×1クラス×2期（1期4回コース） 15人×1クラス×2期（1期6回コース）（オンライン） ⑤高齢者運動教室公開講座 ◆対 象：市民 ◆回数等：150人×1回 ⑥アウトリーチ事業（他団体との連携教室） ◆対 象：市民 ◆回数等：15人×1クラス×1期×3カ所（1期4回コース）				
イ	高齢者運動教室	通年	健康増進センター	指定管理事業
①いずみシニア元気あっぷ運動教室 ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆回数等：28人×2クラス×4期（1期8回コース） ②いずみはつらつ運動教室 ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆回数等：25人×1クラス×4期（1期8回コース） ③いずみシニアステップアップ運動教室 ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な市民 ◆回数等：28人×2クラス×42回 ④いずみいきいき脳活健幸教室 ◆対 象：満65歳以上の認知機能低下予防に興味がある運動可能な市民 ◆回数等：20人×1クラス×6期（1期4回コース）				

2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な知識・技術・実践力を習得した支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催する。

(1) 障害者運動サポーター養成研修会	年1回	健康増進センター等	指定管理事業
障害者の健康づくりを支援する運動サポーターのスキルアップ研修会を行う。 ◆内 容：運動実技、栄養・健康講話、専門職講話等 ◆対 象：健康づくり運動サポーター、障害者スポーツ指導員等 ◆回数等：30人×1回			
(2) 介護予防自主グループ支援事業 (介護予防運動サポーター養成研修会)	通年	区役所等	受託事業
高齢者の健康づくりと介護予防のため、地域で自主的な運動実践を支援するサポーターの養成研修を行う。研修プログラムには、杜の都の体操シリーズの実践を盛り込み普及を図る。また、養成後のサポーター活動を継続支援するとともに、スキルアップ研修を行い資質の向上を図る。			

<p>◆対象：サポーター活動に意欲のある市民、介護予防運動サポーター（活動者）</p> <p>◆回数等：①サポーター養成研修会（5区+2支所）×7回 49回 ②スキルアップ研修会（5区+2支所+中央型） 16回 ③活動継続のための支援（訪問、相談等） 30回 ④研修・会議への参加 6回程度</p>			
(3) 健康づくり運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業
<p>高齢者や障害者の健康づくりを支援する運動サポーターのスキルアップ研修会を行い、事業で活用する。また、健康的で活動的なライフスタイルをいつでも、だれもが取り組める、認知機能低下予防の地域づくりを推進する支援者として養成する。</p> <p>①養成研修</p> <p>◆内容：健康づくりや介護予防、障害に関する講話や実技</p> <p>◆対象：サポーター活動に興味のある方</p> <p>◆回数等：7回×1コース</p> <p>②スキルアップ研修</p> <p>◆内容：救急蘇生法、体力測定、運動実技、栄養・保健講話等</p> <p>◆対象：ウエルネスホープ会員</p> <p>◆回数等：50人×3回</p> <p>③活動支援・活用支援</p> <p>◆内容：教室や講座における活用、自主研修及び運営に関する相談等</p>			
(4) 介護予防支援者研修会	年1回	シルバーセンター等	自主事業
<p>地域で介護予防の支援活動を行っている方を対象に介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催する。</p> <p>◆内容：講話、運動実技、援助法等</p> <p>◆対象：町内会、老人クラブ等で介護予防の支援を行っている方</p> <p>◆回数等：50人×1回</p>			
(5) 指導者研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業
<p>地域や施設等における健康づくりや介護予防の指導員等向けに運動支援のノウハウやツール等を紹介・提供するための研修会を開催する。</p> <p>①指導者研修会</p> <p>◆内容：講演会、研修会、活動の啓発と交流、情報提供等</p> <p>◆対象：障害者施設職員、地域の関係機関職員、運動指導員等</p> <p>◆回数等：40人×4回</p> <p>②学生実習</p> <p>◆回数等：3回程度</p>			

3 健康づくりに関する相談・支援

生活習慣病の発症リスクが高い人や障害者、高齢者が主体的に継続して健康づくりに取り組むことができるように、生活習慣や運動に関する相談・支援を行う。

(1) 障害者健康づくり支援事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業
<p>障害者健康づくり教室修了者等を対象に、必要に応じたフォローアップや継続支援（施設支援・個別支援）を行う。</p> <p>◆内容：保健・栄養指導、体力測定、運動実技、ヘルスチェック等</p> <p>◆対象：過年度障害者対象教室実施施設</p> <p>◆回数等：施設支援 10回程度 個別支援 随時</p>			

(2) 運動自主グループ活動支援事業	通年	市民センター等	自主事業
<p>地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援し、仙台市全体の介護予防の推進に寄与する。 ◆内 容：巡回啓発支援、世話人会開催、会員募集、健康だよりの送付（情報提供）、立上げ支援</p>			
(3) 介護予防プログラム強化事業	通年	シルバーセンター等	受託事業
<p>介護予防の普及啓発を目的に、仙台市の介護予防関連事業の研修会等へ参画し介護予防事業全体の連携を図るとともに、杜の都の体操シリーズの普及や公園の健康遊具の活用促進を通して地域の通いの場への支援を図る。</p> <p>①介護予防関連事業の研修会（情報交換・報告会） ◆回 数：2回</p> <p>②体操の普及啓発等 i) 杜の都の体操シリーズの普及啓発に関する取組み ◆回 数：講師派遣 5回 啓発事業 5回 資料・情報提供 随時</p> <p>ii) 市内の公園に設置された健康遊具の活用促進に関する取組み ◆回 数：講師派遣 随時</p>			
(4) 健康づくり支援プラン事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業
<p>一人一人の健康づくりや介護予防の目的に合わせ、健康度測定による必要な検査・測定・問診を実施して作成する「健康づくり処方」をもとに「健康づくり支援プラン」を作成し、その継続実施を支援する。</p> <p>①健康づくり支援プランの作成 ◆内 容：個々にあった健康づくりの実施に向けた健康づくり支援プランの作成 ◆回数等：健康づくり総合コース 3人×28回 健康づくり簡易コース・食生活コース・身体活動コース 3人×120回 からだチェックタイム 24回程度</p> <p>②支援プラントレーニング ◆内 容：支援プラン作成者を対象としたヘルスチェック、運動実技、保健指導等の継続支援 ◆回数等：26人×148日</p> <p>③生活習慣病重症化・合併症予防事業 ◆内 容：関係機関等との連携のもと、対象者へ生活習慣改善プログラムを提供し、生活習慣病重症化・合併症を予防する。 ◆回数等：i) 減塩チャレンジコース 15人×1回 ii) 減塩啓発ミニイベント 20人×4回 iii) ホームページへの減塩レシピ掲載 6回</p> <p>④健康相談 ◆内 容：専門職（保健師、管理栄養士、運動指導員）による健康相談 ◆回数等：随時</p> <p>⑤調査・研究・開発 生活習慣病重症化・合併症予防を目的とした生活改善プログラムについて、支援方法、ツール等の開発を行うとともに、関係機関等へのフィードバックを行う。</p>			

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行う。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げる。

(1) はつらつ健康フェスティバル	9月	本山製作所青葉アリーナ (青葉体育館)	自主事業
<p>生きがい健康づくりの一環として、地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対して発表の場を提供し、世代間交流を実施する。また、すべての世代に対して健康づくりや介護予防の普及啓発の場とする。</p> <p>◆内 容：各種ダンス・スポーツ等の日頃の活動成果の発表、健康づくりや介護予防の普及啓発</p> <p>◆対 象：仙台市内を活動拠点とする概ね15人以上のグループ、ボランティア等</p> <p>◆回 数：1回</p>			

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行う。

(1) 出前講座				
ア	出前講座（生活習慣病予防・改善）	通年	仙台市内	指定管理事業
<p>①健康づくり応援事業 調査・研究等で把握した健康課題を市民の健康づくりに結び付けるため、地域やイベントで各種健康づくり応援企画を実施する。</p> <p>i) 行政、職域、団体等と連携したイベントの実施 ◆内 容：減塩、たばこ（COPD）、身体活動量等の啓発 ◆回 数：10回程度</p> <p>ii) ウォーキングマップの活用 新規ウォーキングマップの作成と既存のマップの更新、イベントなどで市民への周知を行う。 また、地域の中での健康づくりに活用されるよう、地域団体等と連携を行う。</p> <p>iii) 地域での健康づくりチェック ◆内 容：体力測定、体成分分析など</p> <p>iv) 健康課題の把握と効果的なプログラム作成 健康づくりに関する地域住民や職域の意識、健康課題を把握し、効果的なプログラムの作成と提案を行う。</p> <p>②健康啓発事業 生活習慣病予防を目的とし、健康づくりを啓発・支援するため、講師派遣を行う。 ◆内 容：講話、実習、運動実技、体力測定 ◆対 象：市民及び職域 ◆回 数：25人×12回程度（オンラインを含む）</p>				
イ	出前講座（障害者の健康増進）	通年	仙台市内	指定管理事業
<p>①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：保健指導、栄養指導、体力測定、運動実技、講話、ヘルスチェック等 ◆対 象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等 ◆回 数：12回程度（オンラインを含む）</p> <p>②三所連携事業 障害者総合支援センター・発達相談支援センターと連携した事業「いずちゅう☆健幸祭」を実施する。 ◆内 容：講演会、栄養講座、健康づくり教室の体験等 ◆対 象：主に市民（高齢者、障害者、一般） ◆回 数：1回</p> <p>③その他連携事業 障害者総合支援センター、精神保健福祉総合センター、アイサポート仙台等との連携事業を実施する。</p>				

	④ネットワーク事業 障害者を地域で支援する関係機関とのネットワーク会議に参加し、情報交換や連携を進めるとともに、様々な課題を共有し、解決に向けて協働できるネットワークの構築を目指す。			
ウ	出前講座（高齢者の介護予防）	通年	仙台市内	自主事業
	①出前講座 介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：講話、体力測定、運動実技等 ◆対 象：町内会、市民センター老壮大学、地区社協等 ◆回 数：15回			
	②地域介護予防活動支援教室 地域の健康づくり・介護予防活動の支援を目的とした運動教室を開催する。 ◆内 容：講話、運動実技、参加者及び地域との交流等 ◆対 象：地域住民 ◆回数等：20人×4回×3ヶ所			
	③地域コミュニティ形成支援 関係機関と連携し、連絡会やワーキング会議に参加することにより、地域のコミュニティ形成を支援する。また、ICTを活用した健康づくりのモデル事業を行う。 i) 関係機関との連絡会、ワーキング会議 ◆対 象：地域住民 ◆回数等：20回 ii) 地域づくりICT活用事業 ◆対 象：市民			
④ネットワーク事業 東日本大震災を契機として設立された地域で運動支援を行っている団体・個人のネットワーク組織「健康運動支援情報ネットワーク仙台みやぎ（UNDA）」に参加し、事務局を担うことにより地域の健康づくりに寄与する。また、支援者・支援団体との連絡会、研修会や連携イベント等の企画・運営を実施する。				
(2) ふれあい広場でストレッチ	年2回程度	シルバーセンター	自主事業	
介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催する。 ◆対 象：市民 ◆回数等：20人×2回程度				
(3) 介護予防体操の普及	通年	—	自主事業	
フレイル予防・認知機能低下予防を目的としたツール開発や普及啓発を行う。 ◆内 容：ツール開発、指導、CD販売、リーフレット配布等				

6 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業
市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理する。			

公3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供を行う事業	収益	63,591,000円
	費用	63,591,000円
	人件費	38,994,000円
	物件費	24,597,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態
	事業内容			

1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民等を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催する。

(1) 市民向け介護講座	通年	シルバーセンター等	指定管理事業
<p>①介護1日講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座 ◆回数等：40人×4回 <p>②認知症を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：認知症を理解し、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座 ◆回数等：60人×4回 <p>③ターミナルケアを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座 ◆回数等：60人×2回 <p>④テーマ別介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：60人×5回、40人×3回 <p>⑤土曜介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×4回 <p>⑥地域介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：市民センター等と共同で開催する、介護の知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：30人×5会場 <p>⑦介護ナイター講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×5回 <p>⑧知って役立つ福祉用具講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆回数等：15人×6回 <p>⑨学校向け介護体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張して行う講座（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方等） ◆回数等：10校程度 <p>⑩福祉用具体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：10人以上の希望する団体を対象とした、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ講座 ◆回数等：随時 <p>⑪「福祉用具の日」・「介護の日」記念行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念して、セミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示を行う。 ◆回 数：1回 			

2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識や技術の修得・向上を目的とした研修を開催する。

(1) 認知症介護研修	通年	シルバーセンター等	受託事業
<p>介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識や技術の修得・向上を目的とした研修を開催する。</p> <p>①認知症介護実践者研修 施設、在宅に関わらず、パーソンセンタードケアの視点から、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する。 ◆内 容：講義演習4日、職場実習2回（2週間・4週間）、中間報告1日、実践報告会1日 ◆対 象：実務経験2年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：70人×4回</p> <p>②認知症介護実践リーダー研修 ケアチームにおける指導的立場として実践者の知識・技術・態度を指導する能力及び実践リーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。 ◆内 容：講義演習5日、職場実習4週間、実践報告会1日 ◆対 象：実務経験5年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：36人×1回</p> <p>③認知症対応型サービス事業管理者研修 認知症対応型サービスを提供する事業所を管理運営していくために必要な知識・技術を修得する。 ◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者又は管理者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：24人×2回</p> <p>④小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 利用者及び事業の特性を踏まえた介護事業計画を作成するために必要な知識と技術を修得するための専門的な研修を実施し、介護サービスの質の向上を図る。 ◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者又は計画作成担当者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：20人×1回</p>			
(2) キャラバン・メイト養成研修等	年2回	シルバーセンター	受託事業
<p>①キャラバン・メイト養成研修 認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成する。 ◆内 容：認知症の症状、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等 ◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修を修了した者等 ◆回数等：40人×1回</p> <p>②認知症パートナー講座指導者養成研修 グループワークや認知症当事者（経験専門家）からの講話等を通して、認知症パートナーやその活動について理解し、今後の認知症パートナー講座の開催・運営方法を学ぶ。 ◆内 容：グループワーク、経験専門家の講話、他の地域の取り組み、認知症パートナー講座の今後の展開について ◆対 象：キャラバン・メイト等 ◆回数等：60人×1回</p>			
(3) 介護職スキルアップ研修	年12回	シルバーセンター	自主事業
<p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図る。 ◆内 容：介護技術実習、認知症の理解と対応、ターミナルケア、精神疾患の理解と対応等 ◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：50人×6回、80人×6回</p>			

(4) 生活支援訪問型サービス事業 従事者等養成研修 (生活支援介護サポーター養成研修)	年4回	シルバーセンター	受託事業
<p>介護の基本的な知識や技術を修得し、生活支援訪問型サービス事業の訪問支援員として必要な生活援助サービスを提供できる人材を養成する。</p> <p>◆内 容：職務の理解、尊厳の保持・自立支援、介護の基本、加齢・老化等に伴う心身の変化、コミュニケーション技術、生活支援等（講義・演習2日間）</p> <p>◆対 象：介護の基本的な知識・技術を学ぶ意欲がある方、生活支援訪問型サービス事業所訪問支援員として従事する予定の方</p> <p>◆回数等：30人×4回</p>			

3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行う。

(1) 介護に関する相談、情報提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業
<p>①介護に関する相談 要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応する。</p> <p>◆相 談 日：シルバーセンター休館日を除く毎日</p> <p>◆相談方法：電話、来所</p> <p>②図書等の閲覧・貸出 介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・DVD・ビデオ（約1,400点）の閲覧・貸出を行う。</p> <p>③福祉用具の展示・動画配信</p> <p>◆常設展示：ベッド、入浴関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす、歩行支援機器等約500点</p> <p>◆特別展示：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示</p> <p>◆動画配信：YouTubeを使用した福祉用具の紹介動画配信（年5本程度）</p>			

4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行う。

(1) 認知症サポーターの養成等	通年	シルバーセンター	受託事業
<p>認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の支援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーター等の養成、情報交換会等を開催する。</p> <p>①認知症サポーター養成講座事務局運営 認知症サポーター養成講座の開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキャラバン・メイトの派遣や教材手配を行う。</p> <p>②認知症パートナー講座 認知症サポーター等を対象に、地域で活躍するために必要な知識・情報をさらに習得するための研修を開催する。グループワーク等を通じて、認知症の人の視点に立ち、認知症の人と一緒に行動できるパートナーを養成する。</p> <p>◆内 容：本人・家族の思い等に関するグループワーク・講話、仙台市の社会資源と認知症パートナーの活躍場所の紹介等</p> <p>◆対 象：市内の認知症サポーター等</p> <p>◆回数等：60人×2回</p> <p>③認知症サポーター情報交換会 認知症サポーター等を対象に、地域の最新情報の共有とつながりを広げる場を提供する。</p> <p>◆内 容：取り組みの好事例の紹介、お互いの取り組みについての情報交換等</p> <p>◆対 象：市内の認知症サポーター等</p> <p>◆回数等：60人×1回</p>			

(2) 職域等向け介護研修	随時	—	自主事業
<p>介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画・開催する。</p>			

公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業	収益 457,808,000円 費用 457,808,000円 人件費 371,329,000円 物件費 86,479,000円
--------------------------------	---

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態
	事業内容			

(1) 要介護認定訪問調査事業	通年	—	受託事業
<p>仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査を行う。</p> <p>◆調査見込件数： 38,041件</p> <p>①仙台市 37,641件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回申請 15,902件 ・更新申請 17,686件 ・区分変更・再調査 3,753件 ・介護扶助 300件 <p>②他市町村等 400件</p>			
(2) 障害支援区分認定訪問調査事業	通年	—	受託事業
<p>仙台市及び他市町村等から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行う。</p> <p>◆調査見込件数：1,880件</p> <p>①仙台市 1,879件</p> <p>②他市町村等 1件</p>			

【収益事業】

収 1 仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益 105,581,000円 費用 101,068,000円 人件費 14,787,000円 物件費 86,281,000円
---------------------------	--

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態
	事業内容			

1 仙台市シルバーセンターの管理運営

(1) 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業
①福祉団体等以外への研修室等の貸出 福祉団体等が未使用時において、使用料を徴収し、一般団体に貸出を行う。 (令和3年度実績 1,019件 22,514人 ※感染症の影響により予約停止・利用自粛要請期間あり) ②高齢者等以外への温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者以外の方を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 (令和3年度実績 1,324人 ※感染症等の影響により利用停止期間あり) ③公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務			

収 2	生活習慣病予防・改善講座及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	27,949,000円
		費用	27,949,000円
		人件費	15,041,000円
		物件費	12,908,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態
	事業内容			

1 生活習慣病の予防・改善に関する講座

(1) 健康づくり推進事業	通年	健康増進センター	自主事業
<p>健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者について、身体状況把握、効果測定などを目的とし、尿・血液検査を行う。また、身体活動量の目安把握のための歩数計配付や講座用の材料提供を行う。</p> <p>◆対象：健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者</p> <p>◆回数等：尿・血液検査 100人 尿検査 60人 栄養講座材料提供 30人</p>			
(2) 健康づくり講座	通年	健康増進センター	指定管理事業
<p>働き盛りの世代のうちから肥満や運動不足、食事バランスの偏り、喫煙等の生活習慣の改善を促し、将来の疾病を予防することを目的とした講座を実施する。</p> <p>①ヘルスアップセミナー（個人向け）</p> <p>◆内容：高血圧、たばこ（COPD）、栄養、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム等に関する講話と実技、測定</p> <p>◆回数等：25人×14回程度</p> <p>②ヘルスアップセミナー（団体向け）</p> <p>◆内容：職域団体のニーズに基づいたプログラムの作成、生活習慣病予防（身体活動、栄養、睡眠や休養）に関する講話や運動実技</p> <p>◆回数等：20人×4回程度</p>			

2 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) 施設の利用提供 センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業
<p>①施設の利用提供</p> <p>公益目的事業未使用時に使用料を徴収し、健康づくりの場として施設の利用提供を行う。</p> <p>◆対象：16歳以上で運動可能な方</p> <p>②施設利用サポーターの養成・活用</p> <p>施設の利用提供において利用者が増加し、高齢者や障害者の割合が高くなっている状況を踏まえ、利用者の安全性確保と利便性向上を図るため、施設利用サポーターを養成し、その活用を行う。</p> <p>◆対象：健康づくり運動サポーター</p> <p>③公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務</p>			